

非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・http://hikaku-osaka.jp/
 行 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@nifty.com

第180号 2017年7月1日 **ニュース**



大きく前進へ!!

核兵器禁止条約 非核大阪の会から代表派遣

核兵器禁止条約を交渉する国連会議の第二会期が六月一五日、ニューヨーク国連で始まりました。その交渉を成功させるため日本原水協の代表団の一員として大阪から九名の代表団が派遣されました。当会からも常任世話人の大勝地平氏が参加しました。その報告がメールで届きました。

2017.6.16
1 ニューヨーク行動
1 日目報告

今日は、朝から国連本部で行われている、核兵器禁止条約会議の傍聴を行いました。議場は人で溢れていて、私達市民社会の代表はすべての人は座ることが出来ず、通路や立ち見という状態でした。

今日の議題は主に核兵器禁止条約の前文をどのような形で充実させるかということが議論されていました。印象的だったのは、「核兵器廃絶の促進ではなく、核兵器廃絶の達成とすべき(エジプト)」「核抑止論の概念自体を違法化するべき」という文言にするべき

(インドネシア)「もっと核軍縮教育にも力を入れる必要がある(アイルランド)」
 「CEIACなど地域共同体の努力にも言及が必要(キューバ)」など各国政府の発言があったように、核兵器禁止条約をもっと豊かに、もっと多様にとり豊かに、建設的に前のめりで議論がされていたことでした。日本の国会では答弁しなかったり、ごまかしたり、開き直ったりという場面しか目にすることがないので、議論を前向きに積み重ねたり、世界の英知を結集したりするということのはこういうことかと実感しました。

国連の傍聴後はセルジオ・ドゥアルテもと国連軍縮問題担当上級代表の講演を聞きまし



た。印象的だったのは「核兵器禁止条約国連会議の背景に、多くの国の核兵器廃絶の努力にもかかわらず、核不拡散条約がなかなか進展しないという、不満がある」と語られたことと、「オランダのように核の傘にありながら会議に参加している国もあるように、核保有国やその周辺国が条約に参加することが依然として大事」と語られたことでした。核の傘のもとにある日本政府の態度を変えさせ、アメリカなどの核保有国を条約に参加させる課程と私達の役割の重要性を感じました。

夕方からは核兵器禁止条約交渉会議に参加している青年たちと交流し、次の日に行われる「核兵器を禁止する女性行進」のプラカードやグッズを一緒に作りました。

英語が不自由で、僕は自身はなかなかコミュニケーションがはかりにくかったですが、大きなつるを折って、メッセージを書いてもらうなど、和やかに交流し、様々な運動交流をしました。

2017.6.17
2 ニューヨーク行動
2 日目報告

二日目は朝から大阪代表団と和歌山のメンバーでコロンブス広場で署名行動に取り組みました。言葉が通じることなど、初海外の署名行動に少し緊張しましたが、「we want to ban Nuclear Weapons (私達は、核兵器廃絶を求めています)」
 「signature please! (署名お願いします)」と訴え、署名を個人では三筆、全体では二九筆の署名を集めました。(続きは2面に)

- ①「非核五項目」
 ② 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
 ③ 国是とされる非核三原則を厳守する
 ④ 日本の核戦場化へのすべての措置を防止する
 ⑤ 国家補償による被害者援護法を制定する
 ⑥ 原水爆禁止世界大会の、これまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する



▲国連代表にヒバクシャ国際署名の提出

署名に協力してくれた人の中には、「戦争は良くない、だから核兵器もダメ」と話してくれた方もいました。核保有国のアメリカでも私達の取り組みに賛同してくれる人も大勢いると実感しましたし、その人たちの思いを集める草の根の活動の重要性を感じました。署名のあとは、前日交流した青年を含む多くの女性が参加する「核兵器を禁止する女性行進」に参加しました。豪雨のなか一〇〇〇人の参加があり「What do want? (何がしたい?) Nuclear Ban! (核兵器禁止!)」

「When do we want it? (いつがいい?) Now! (今すぐ!)」と英語でコールもしました。豪雨のなかで少し大変でしたが、アメリカの活動家の人や市民の人とこころ一つにアピール出来て楽しかったです!

行進後の集会では、交渉会議の議長エレン・ホワイトさんが会場にかけつけてくれ、二、九六三、八八九筆分の署名の目録を代表者を通じて渡しました。この到達を通過点として、市民社会の声をもつと届け条約の後押しをしていきたいと思いました!

夜は昨年の世界大会に参加していた、タフツ大学で核兵器廃絶の取り組みを広げている、ヘイリーさんとその同じ大学の仲間ケビンさんと夕食交流をしました。ヘイリーさんが、世界大会でヒバクシャの方の話聞いて取り組みの力にしていると話していたのが印象的



で、ヒバクシャの実相を広げる取り組みが世界の青年も突き動かしているのだと感じました。(非核の政府を求める大阪の会代表 民青同盟大阪府委員会常任委員 大勝地平)

新シリーズNo.3 宗教者と非核平和

私たちが浄土真宗の教えでは、生きとし生けるもの全てが救われなければ、仏にならないという法蔵菩薩の誓った願い(本願)があります。全ての人が救われるための仕事があります。私たちが宗教者に与えられた使命ではないかと、つくづく考えさせられる

今、私が平和運動に取り組み後世に伝えたいと願うのは、この一点です。お互いに願いを一つにする世界中の人たちと連帯し、頑張ります。大阪宗教者平和協議会理事 佐野彰義

新役員です。よろしくお願ひします。日本共産党大阪府委員会 小谷三鈴

数年前、広島市の平和公園で資料館を訪ねた時、印象に残ったのは、ゆがんだ一升瓶、壊れたレンガ、そして人々の衣服、特に学生さんの制服には胸が痛くなりました。

せを奪われた檜葉町、飯館村の皆さんのお話を聞かせていただきました。今年、国連で「核兵器禁止条約」制定されようとしています。「核兵器のない世界」の実現という、人類にとって死活的な緊急課題が画期的な動きです。被爆者の皆さんの粘り強い運動と草の根の運動が実ったものと思います。三月の世界会議で被爆者の方の発言があり、日本共産党の志位委員長が参加し発言したことは、日本政府が欠席したもとの意義ある貴重な活動としました。今年のポスターは歴史的に意義あるものになりました。

私がこれまで非核の問題でかわったことを少し紹介させていただきます。府議会では九七年に非核宣言都市の提案、被ばく二世の方の健康診断問題で府に請願を上げるお手伝い、府の原子力問題調査特別委員会に所属させていただきました。また、証言者の高齢化で被爆手帳取得が困難な方の相談にのったり、二〇一三年に福島を訪れたときは、原発事故で野菜作りや孫の成長を見守る小さな幸

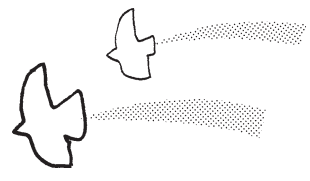
世話人会ではかなり専門的な各分野の先生方や、運動を進めてきたベテランの皆さんがいらして、いつも勉強させていただいています。どうぞよろしくお願ひします。

2017年度 各自治体 非核・平和 施策紹介

毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介いたします。これは市町村の関係部門へのアンケートを基に当会が集約した今年度の抜粋です。関係者の皆様のご協力に感謝します。尚、放射線測定器所有の有無等全項目は会ホームページをご覧ください(5月末集約)

自治体	今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応③今年度の予算額	原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策	福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか②福島原発事故被災・避難者に対する対応
大阪府	①大阪国際平和センター(ピースおおさか)において戦争・平和に関する展示、映画上映、紙芝居、資料貸出、戦跡ウォーク等を通年実施(小中学生は入館無料、子ども向け映画上映等) ②平和行進等への知事メッセージを送付 ③ピースおおさかへの補助金84,307千円(補修・改修工事費42,005千円含む)	①一般社団法人 大阪府原爆被害者支援協会 ②「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づく施策の実施	①東日本大震災による大阪府への避難者数は、1226人(平成29.3.17現在 全国避難者情報システム登録者数)。福島県原発事故に伴う避難者数については、調査していない。②避難して来られた方々が安心して暮らしていただけのよう、震災直後の一次避難所の設置や、府営住宅・市町営住宅等の提供、見舞金の支給、学校での受入れ等様々な支援を行ってきた。また、支援内容の広報やイベント等の情報提供についても、市町村と協力して行っている。今後とも避難して来られた方々の生活が安定し、安心して暮らせるよう、必要な支援を実施してまいり所存。
大阪市	①ピースおおさかにおいて、講演会・映画会等を実施②平和行進等にかかるメッセージの送付③当初予算76,248千円(大阪国際平和センターの運営補助(設備改修補助金33,937千円含む))	①②所管部署なし	①②該当する資料なし。東日本大震災による各種支援状況はHP参照 http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000195672.html
能勢町	①「能勢町人権と平和のつどい」 12月開催予定②該当なし③1,257千円	①②把握していない	①該当なし②該当なし
豊能町	①小中学校の修学旅行で広島、長崎を訪れている。8月の平和登校日等で平和に関して学習する。②なし③なし	①豊能町原爆被害者の会②なし	①なし②なし
箕面市	①平和関連のパネル展等を行う予定(らいとびあ21)、平和関連のパネル展等を行う予定(ヒューマンズプラザ)、戦時生活資料展予定(郷土資料館)以上、展示は日時未定 ②ピースフェスタ等は後援名義使用申請があった場合、使用基準を満たすものであれば承認。平和行進等については、例規に基づき、可能な範囲で受け入れ対応している。③48千円(平和施策のみならず、人権、国際理解などと一体化した事業として)	①箕面市原爆被害者の会②大阪府が年2回実施する健康診断を受診する市内在住の被爆者への奨励金を支給	①63人(原発事故に限らず、東日本大震災の避難者:4/26現在)②府下避難者支援団体等連絡協議会「ホットネットおおさか」からの情報誌等を市社協より月に1回郵送し、また相談も受け付けている。
池田市	①各小・中学校とも7~8月に非核・平和に関する学習を実施。(平和登校日、平和のつどい等)修学旅行で小学校は広島、中学校では長崎・沖縄を訪れ平和学習を実施。毎年8月に平和と人権・狭山を考える池田市民集会を実施②特になし③605千円	①池田市原爆被害者の会②道料金減免(上下水道)	①市として把握しておらず ②特になし
茨木市	① i 非核平和展を開催予定 平成29年8月1日~8月6日 ii 阪急茨木駅並びにJR茨木駅前にて非核平和街頭啓発を実施予定 平成29年8月9日 iii 市役所本庁において、原爆死没者を慰霊し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける市内放送を実施する予定 平成29年8月4日(翌々日6日の呼びかけ) 平成29年8月9日②市内4団体への平和行進・平和マラソンへの協力③1,334,000円	①茨木市原爆被害者の会②なし	①東日本大震災被災・避難者全体で約70人 ②情報提供や関係イベントなどの紹介
高槻市	①修学旅行において、小学校(全校)では広島、中学校では長崎・沖縄を訪れ、平和学習を実施 小学校等での被爆アオキリ2世及びクスノキ2世の植樹(予定)平和展の開催(8月3日~4日)＜パネル展示等＞(8月3日~4日)・特別展示、戦時資料・パネル等の展示、市内小学校での平和学習のDVD上映、折鶴・手作りおもちゃコーナーなど＜映画会＞(8月3日)「いしぶみ」映画上映 ＜音楽祭＞(8月4日)「愛・いのち・平和」をテーマにした市内アマチュア合唱団による合唱・市広報誌での非核・平和に関する記事の掲載、原爆死没者の慰霊及び平和祈念の黙とう実施のよびかけ、各種非核平和行進隊へのメッセージ送付など②国民平和行進等に対し市長からのメッセージ代読及び激励・見送りを行っている。③平和展事業1,004千円、その他平和モニュメント等の清掃、日本非核宣言自治体協議会分担金など163千円、合計1,167千円	①高槻市原爆被害者の会②原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく施策の実施(健康診断、各種申請の大阪府への経由等)	①18人(福島県からの避難者数) ②情報提供(東北復興新聞データ及び大阪府弁護士会からの情報提供資料の送付)
島本町	①7月に「人権と平和のつどい」を実施。平和に関する映画を上映予定。8月に戦中食体験事業を予定。平和啓発記事を広報に掲載②平和市民マラソン等へのメッセージの送付 ③270千円※人権ライブラリーにおける貸出用として、平和関連図書を購入予定(購入額未定)※補助金交付団体との共催で、平和に関するパネル展示を実施予定	①島本エーボン被害者の会②福祉金の支給、健康診断に係る送迎(月額2,500円/人)	①0人②なし
吹田市	①・小中学生への啓発では人権と平和をテーマにした「じんけん作品」の募集(教育委員会) ・市民平和のつどい 非核平和資料展「平和と学びポスター」展) 平和を題材とした催し(落語と浪曲のタベ〜伝統芸能が伝える平和へのメッセージ) ・平和祈念資料館の管理運営 市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示及び平和に関する資料の 収集と貸出し、平和映画会の開催、その他平和に関するイベント ・平和祈念資料館企画展 「長谷川義史 絵本原画展 へいわつてすてきだね」(仮題) ②6~7月に行われる平和行進について、市役所にて水分補給のため、湯茶を提供③37,674,000円	①吹田市原爆被害者の会(吹閃会)②原爆被爆者相談活動への援助、原爆被爆者支援活動補助金、原爆被爆者診療等旅費補助金、原爆被爆者二世健康管理手帳の交付、原爆被爆者二世健康検査、原爆被爆者二世に対する医療費助成	①21世帯63名 ②市内支援組織に対する支援等
摂津市	①7、8月を平和月間と定め各種事業の実施 ・平和コンサート、平和パネル展、市内公共施設における映画会等。・平和黙祷の実施 ・広島・長崎への記念式典への派遣(隔年)他②平和行進の受入等の支援、平和行進団体の激励、メッセージ③713千円(平和施策推進事業)	①摂津市原爆被害者福祉協議会(1世、2世が構成員)②1世、市立温水プール利用料減免(市の独自制度)2世、原爆被爆者二世に対する医療費助成(市の独自制度、医療費の一部負担金を公費で助成。所得制限あり)・一般健康診査(都道府県制度)	①不明 ②対応していない

自治体	今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応③今年度の予算額	原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策	福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか②福島原発事故被災・避難者に対する対応
豊中市	①平和月間事業 展示 原田小学校6年生平和学習の作品・・・原田小学校6年生が、平和学習の取り組みを通して、それぞれが選んだテーマについて調べたものを展示(8月1日～8月25日)岡町図書館。ほたる平和映画会(蛭池公民館と共催)8月16日蛭池公民館第2集会場 i 平和月間事業「大阪空襲」&『平和と学び』パネル展(7月29日～8月3日蛭池公民館 ii ほたる平和映画会(蛭池公民館と共催)8月16日蛭池公民館第2集会場 i 平和に関する手作りパネル展(8月中)戦争のない平和な社会づくりに関する内容。蛭池人権まちづくりセンター ii 人権講演会(8月3日)講座形式で、お互いの人権を尊重する大切さを知る内容。蛭池まちづくりセンター。平和月間事業 ビデオ上映会(8月29日)千里公民館集会場 平和月間事業「沖縄と戦争」①パネル展(仮)「こどもたちの沖縄戦」(8月中旬～下旬)中央公民館②講座(仮)「沖縄と平和について考えよう」こども琉球舞踊体験講座。(8月下旬に2回開催予定)中央公民館。平和月間事業 パネル展とビデオ上映(8月3日～8日)大阪国際平和センター所蔵の写真パネル展示するとともにアニメ映画「焼け跡のお菓子の木」を上映。青年の家のいぶき 旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」(8月19日)伝統芸能館。平和月間事業「峠三吉生誕100周年事業」日時未定。会場未定。平和月間事業「原爆の日を語り継ぐ」広島・長崎の被爆直後の写真やビデオ映像、小学生向けポスター等、平和への気持ちを手に書いてもらいパネルに貼って展示。(8月19日～8月23日)庄内公民館。展示「戦争と平和の本」①8月1日～8月31日岡町図書館②8月1日～8月31日服部図書館③8月1日～8月31日庄内図書館④8月2日～8月31日庄内幸町図書館⑤8月1日～8月31日高川図書館⑥7月1日～8月31日千里図書館⑦7月1日～8月31日東豊中国書館⑧7月1日～8月31日野畑図書館⑨8月1日～8月31日蛭池図書館。高齢者ふれあい交流会平和っていいな!一緒に学ぼう!7月28日 豊中人権まちづくりセンター憩いの家。平和月間パネル展「原爆と人間」(8月2日～8月9日)豊中人権まちづくりセンターひとまち であい夏まつり 7月22日 森木公園内グラウンド。人権文化のまちづくり講座「戦争取材から語る日本国憲法(または憲法9条)」(8月9日)講師:志葉 玲さん(フリージャーナリスト) 豊中人権まちづくりセンター。第66回 戦没者並びに空爆犠牲者追悼式 10月1日 とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ。※H29年6月10日現在情報、事業内容変更等発生する場合あり。②後援・共催については、市民団体の平和の取り組みへの後援を行っている ③1,169,000円	①豊中市原爆被害者の会②高齢被爆者相談会等事業、小・中学校への伝承活動	①平成29年4月1日現在 8世帯17名 ②市営住宅の提供、各種情報提供(最大月に2回)、各種相談業務 等
枚方市	①※枚方市では啓蒙活動という表現は使用せず、啓発活動として実施。7月～8月 平和資料室特別展及び平和映画会。10月 市内戦跡バスツアー。3月 枚方市平和の日記念事業(「平和の燈火」「平和メッセージ発信事業」等) ※その他、住民団体や学校単位で希望があれば、戦争遺跡等の見学説明会を随時開催 ②・市長メッセージなどの対応をしている③8,729,000円	①枚方市原爆被害者の会。枚方市原爆被害者二世の会②「被爆者二世健康管理表」の発行	①把握していない②福島原発事故による被災・避難者かどうかに関わらず、東日本大震災による被災・避難者に対する対応として、被災地支援事業や市税・保育料の減免等の対応を行っている。(東日本大震災の被災者に係る手数料等の免除に関する特別措置規則を適用される資格を有した者のうち、平成29年3月31日までの間に本市に住所を移転し、かつ、同期間に引き続いて本市に住所を有するものが対象)
寝屋川市	①(1)恒久平和を願う市民のつどい(寝屋川市立中央公民館講堂) 8月5日 ・平和に関する講演会 講師:紺野美沙子さん テーマ「人と人が支え合う世界」・平和のバラ写真展示 ・原爆・戦争パネル展示 ・戦中食「すいとん」試食コーナー 8月8日 恒久平和祈念の式典 市民の皆様から平和の折鶴を募集し、寄せられた折鶴を恒久平和を願う千羽鶴にし、市内平和の塔に捧げる。(2)平和のバラの苗木配布12月2日(寝屋川市立中央公民館講堂)平和のバラを育てることにより幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布。(3)親子の平和バスツアー 8月1日(参加者小学生以上の親子) 滋賀県平和祈念館等 (4)黙祷(庁内放送) 寝屋川市民等来庁者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ②市長に祝電・メッセージの対応を行っています。平和行進時に寝屋川市役所を経由する場合はお茶の接待等を行っています。③1,643千円	①寝屋川市原爆被害者の会(広長友の会) ②健康診断(年2回)	①平成29年4月1日現在 3世帯 ②大阪府下避難者支援団体等連絡協議会から送付される郵便物の転送等(危機管理室が対応)
交野市	①交野市平和祈念のつどい映画会(8月予定)。平和の鐘打鐘(市内寺院の協力により8/6,8/9実施予定)②市長メッセージや後援義、国民平和行進では会場提供等を実施③417,000	①原爆被害者の会 ②なし	①6人②大阪府弁護士会による支援として、定期便雑誌の送付
守口市	①8/8～10「平和のつどい」(パネル展示、講演会、映画映画会)②国民平和行進に対して、市長メッセージを③市の予算42,000[平和のつどい]講師謝礼40,000、平和首長会議メンバーシップ納付金2,000]	①守口市原爆被害者の会②補助金の交付(守口市→守口市原爆被害者の会へ64,000円)	①把握していない ②今のところ対応していない
門真市	①(1)児童、生徒への啓蒙活動 平和学習として「社会科」の授業における戦争に関する学習だけでなく、「特別活動」における実地学習を行っている。また、「総合的な学習の時間」「道徳の時間」等における国際理解・多文化共生教育を全小・中学校において進めている。(2)住民への啓蒙活動 平和に関する映画会等を実施予定②(1)後援 事業名:2017ピースフェスタ門真。申請団体:ピースフェスタ門真実行委員会(2)国民平和行進等 市長メッセージを送付する等の対応を実施③67,000円	①門真市原爆被害者の会②平成24年度より休会のため女性なし	①把握していない(東日本大震災に伴う避難者については、2世帯を把握している) ②上記に記載の避難者に対して、大阪府や大阪府下避難者支援団体等連絡協議会等からの情報提供、文書等の送付を実施している。
四條畷市	①7月28日～29日 平和・人権展 語りつごう平和の大切さ ・平和・人権パネル展 ・語り部コーナー(大阪空襲と当時の暮らし) ・戦中食試食会 ・映画会 小学6年生を対象に広島への修学旅行事前学習としてヒロシマ被爆者語り部とパネル展「原爆と人間」を実施 8月9日、8月15日 黙とう呼びかけ(庁内放送等)来庁者及び職員に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙とうの呼びかけを行う ②・各団体が実施する平和行進等の受け入れ、集会参加。市長メッセージ。③342,000円	①活動団体なし ②なし	①把握していない ②特になし
大東市	①折鶴コーナーの設置・千羽鶴の作成、平和バスツアー、ヒロシマ記者事業 ・広報誌や防災行政無線を使って、広島・長崎の原爆投下時刻、終戦記念日の正午に黙祷、平和パネル展。・親と子で平和を考えるつどい②応援メッセージを送付している。③637千円	①大東市原爆被害者の会②団体補助交付金	①現在0名(昨年度回答した2名は大東市に住民票を移されている ②特になし
東大阪市	①8月平和のつどい(講演会、資料展、戦争・原爆被害者の話、映画の上映会)②各団体の平和行進に協賛。市長・議長メッセージ③平和行事経費1,613千円	①東大阪原爆被害者の会②被爆者検診2回	①大阪府が把握 ②水道料金の免除、被災地からの便りの郵送



自治体	今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応③今年度の予算額	原爆による被害者関係①被爆者団体名②被爆者援護施策	福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか②福島原発事故被災・避難者に対する対応
八尾市	①長崎被爆体験講話 市内小中学校14校で実施(7月)。市役所市民ロビーにてミニミニ原爆展(非核協賛)を実施(7月)。懸垂幕の設置(8月)。黙とうの実施(8月)。公用車に平和啓発のマグネットシートを貼付(8月)。戦争遺跡めぐり(未定)。市内小中学校にミニミニ原爆展(非核協賛)の貸出について案内し、希望する学校に貸出。②平和行進等に対し市長メッセージを送付③743千円	①八尾市原爆被害者の会②八尾市社会福祉関係団体育成事業補助金(社会福祉協議会を通して、団体活動に対して助成を実施。72,000円/年)	①東日本大震災に係る避難者については把握しているが、原発事故のみの被災者については把握できていない。②東日本大震災に係る避難者に対しては、福島県からの被災者向け情報を定期的に提供している。
柏原市	①・8月5日～7日「柏原市平和展」を開催予定 ・千羽鶴手作りコーナー。・平和を考える映画の上映。・平和と人権のパネル展示。・関係機関から送付されたポスター・チラシ等を市内各施設に掲示。・終戦記念日に係る黙とう(庁内アナウンス)。・市立保育所・幼稚園の園児による平和メッセージカード作成、平和行進への協力②平和活動に賛同し、メッセージ等を送付している。③1,326千円(平和事業)	①柏原市原爆被害者の会②有り	①該当なし②なし
松原市	①平成29年度非核平和展8月7日～10日 松原市役所1階市民ロビー、はーとビュー(人権交流センター)・原爆の凶丸木美術館所蔵のパネル展示。・大阪国際平和センター所蔵のパネル展示・広島平和記念資料館所蔵のパネル展示。・ふるさとびあプラザ所蔵資料の企画展示・体験コーナー、折鶴コーナー、昔のあそび体験、大型布製紙芝居。・上映コーナー(戦争関係のDVD等の上映)。・読書コーナー(平和関連の図書や絵本)。・ご意見コーナー。・啓発物品の配布 ②なし③634千円	①松原市原爆被害者の会②松原市原子爆弾被害者福祉給付金支給事業。松原市原爆被害者の会への補助金の交付	①12人 ②資金援助:福祉総務課による生活保護の支給
藤井寺市	①・平和展の開催(8月)・広報紙(8月号)にて平和特集記事を掲載②・毎年8月に市内人権団体との共催で平和展を開催。・平和行進を実施している団体に対して、激励の挨拶、集会所等の提供を実施③市内人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金を交付128万円	①②藤井寺市原爆被害者の会が、2014年3月31日付で解散されたため不明	①なし ②なし
羽曳野市	①(1)庁内放送により正午に1分間の黙祷を呼びかけ 8月6日(広島平和記念日)、8月9日(長崎原爆の日)、8月15日(平和祈念)(2)「羽曳野市平和展&人権展」の開催(5月5日) ・市民フェスティバル会場において、公益財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか)より借用の「大阪空襲・市民生活」のパネル展示。・平和の願いを込めたハートの風船の配布などを通じて平和の啓発(3)「2017年羽曳野市ピースアピール」の発表(5月5日)(4)平和ゲートボール大会の開催(5月31日)日本国憲法が保有する平和主義の精神について広く啓発し、平和の尊さについて考えるきっかけとなることを目的に開催(5)平和パネル展の開催(8月に予定)市役所コミュニティスクエア(ロビー)においてパネル展の実施②平和行進等へのメッセージの送付③340,000円	①②なし	①1名 ②避難者専用登録情報システムへの情報登録
太子町	①終戦記念日の1分間黙祷②現在予定なし③人権団体に、人権啓発事業や平和事業等の事業補助金として 807,000円	①なし②太子町心身障害者(児)等給付金(4500円/年)	①なし②特になし
河南町	①小・中学生に対する平和を含めた人権の作文・詩・標語等の募集を行う6月～9月、「平和を考えるパネル展」8月中頃「平和を考えるビデオ上映」8月中頃「平和を考える町民の集い」8月末、平和・人権バズアター(広報で募集を行い、バスで平和関連施設を訪問)10月②なし③430,000円(見込み)	①②把握していない	①把握していない②把握していない
千早赤阪村	①非核平和都市宣言懸垂幕の掲出、広報誌による啓蒙活動、平和パネル展の実施、②なし ③予算計上なし	①②なし	①2017年5月現在0人②なし
大阪狭山市	①・8月5日に文化会館で「平和を考える市民のつどい」を開催し、反戦・非核をテーマにした映画を上映。原爆に関する資料や書籍の展示。・広報誌等で6,9,15日に黙とうを呼びかけ②・大阪狭山ライオンズクラブが主催する「国際平和ポスターコンテスト」の後援、及び市長賞を交付。・国民平和行進大阪実行委員会が主催する平和行進へメッセージの発信③未定(大阪狭山市人権協会の事業費で実施)	①大阪狭山市原爆被害者の会②被爆者見舞金支給対象事業	①0名(2017年5月19日現在) ②なし
富田林市	①・広島原爆の日(8/6)、長崎原爆の日(8/9)、終戦記念日(8/15)に市役所内での黙祷と広報による市民への呼びかけ、小学生による非核・平和ポスターの取り組み ・「第33回平和を考える戦争展」8月11日～13日(展示)肉声で聞く戦争体験(仮) 広島・長崎原爆の現物資料とパネル展示。戦時下の富田林(市民からの戦時品・遺品) 折り鶴、ピースアクセサリ、メッセージアートなど。 (平和記念講演会) 櫻井 義夫さん(富田林市在住 戦争体験者)(予定)。福田 正昭さん(同上)(予定) (映画・人形劇・マリオネットなど) ・「親子平和の旅」8/5～6 8月6日「広島平和記念式典」に市民代表として親子1組(2人)を派遣 ②・「国民平和行進」の受入れ ③2,454千円(被爆者関係除く)	①富田林原爆被害者の会②原子爆弾被害者見舞金の支給 原子爆弾の被害者を激励し、福祉の増進を図るため、毎年8月に5000円の見舞金を支給(申請は7月中)。支給対象者は「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づき支給される諸手当を現に受けている者で、7月1日現在引き続き本市に3か月以上居住し、かつ住民基本台帳に記録されている者。	①1人 ②・関係書類の送付。 ・ゴミシールの無料配布
河内長野市	①・市民まつりで、人権・平和にかかる掲示物展示による啓発の実施。・愛・いのち平和展の実施。・夏休み子ども映画の集いの実施。・夏休み平和施設見学会の実施。・「広島原爆の日」長崎原爆の日「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」に庁内放送により正午から1分間の黙とうを実施。・黙とうの呼びかけを広報紙により市民へ周知②国民平和行進に市長メッセージを送付③493千円	①河内長野市原爆被害者の会②相談員の配置、検診の推進。	①11名 ②定期的に大阪府から送付される「大阪府下避難者支援団体等連絡協議会のお知らせ」を避難者に送付している
高石市	①・非核平和都市宣言啓発塔の常設(庁舎前)。・「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)の開催(7月28日～8月9日)(小学6年生などから寄せられた「平和ハガキ(約550枚)」の展示、非核・平和に関する写真等パネルの展示、平和に関連するビデオの映写、小中学校において実施された戦争の語り部事業のDVD上映等。・懸垂幕「核兵器のない平和な世界をめざそう」の掲示(8月の1ヶ月間)。・広報紙(8月号)の人権のページに、非核・平和に関する特集を掲載。・関係機関から送付されたポスター・チラシ等の掲示・配布。・反戦、非核・平和に関するビデオなど視聴覚教材の貸し出し。・平和を祈念し、市職員の黙とう(8/6・9)の実施呼びかけ(広報紙で市民にも「黙とうに協力」と広く呼びかける)。・戦争の語り部事業(小中学校において、語り部による戦時体験の講和会の実施)②・原水爆禁止国民平和行進メッセージ。協賛金、湯茶等の対応。・非核・平和行進メッセージ。協賛金、湯茶等の対応。・関西圏の目反核平和マラソンメッセージ③	①②なし	①5人 ②支援情報リーフレットの転送(月1回)

自治体	今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応③今年度の予算額	原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策	福島原発事故被災者関係 ①福島原発事故に伴い、貴市(町村)への避難者は何人おられますか②福島原発事故被災・避難者に対する対応
堺市	①「さかいいっこ」作文、わたしからの人権メッセージ募集、「平和と人権展」の開催8月下旬 ②平和と人権を考える市民のつどい」の参加 7月9日(堺市と協力して人権活動に取り組んでいる世界人権宣言促進連絡会の主催) 平和行進等へ市長メッセージを送付 ③自由都市・堺 平和貢献賞1,188,000円、平和と人権展1,934,000円、平和と人権資料館運営費13,684,000円、世界人権宣言促進連絡会事業補助金1,211,000円、人権啓発塔2,000,000円、原爆被害者の会補助金(2団体に交付) 160,000円	①堺原爆被害者の会(広長会)、堺原爆被害者2世の会(堺広長2世の会)、美原区原爆被害者の会(平成29年4月22日付で解散)	①東日本大震災による市内避難者は197人(平成29年5月9日現在)。ただ、避難理由は把握していない。②東日本大震災により被災し当市に避難されている方を対象に「東日本大震災被災者サポートカード」を発行し、見学施設の入館料等の割引サービスや各種検診、健康検査、カウンセラーによる悩みの相談を実施。
和泉市	①(1)市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働で実施 ・平和千羽鶴展開催に伴う啓発と千羽鶴の公募の呼びかけを5月広報紙、市ホームページで実施し、作品展示を7月～8月に、市内公共施設(4か所)で開催。・学校園、保育園に「平和千羽鶴展」の作品募集、展示案内、平和映画会を8月に実施。・人権平和市民研修会の開催(戦跡等のフィールドワーク等)、・平和の集いの開催(講演会・コンサートやパネル展示等)、(2)平和啓発ビデオの購入とその貸し出し、(3)市民から寄贈いただいた戦時用品の貸し出し ②(1)市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働で事業実施(2)反核平和マラソン、国民平和行進、非核・平和行進に市長メッセージ、飲料提供等③1,199,000円	①原爆被害者の会「和泉市楠の会」②上記の団体に補助金を交付の上、団体の活動を福祉の向上を図る。被爆者援護施策については、生きがい健康部高齢介護室が担当	①40人 ②避難者支援情報(大阪弁護士会とりまとめ)を月1回郵送
泉大津市	①・平和メッセージ展・・・市内の幼稚園・保育所・認定こども園、小学生を中心に、平和を願うイラストを内輪に描いていただき、展示する。(7月6日～11日)Tクスピア大阪織編館ギャラリー)・平和パネル展・・・平和に関するパネルを展示(8月1日～6日)市役所ロビー。・平和メッセージ展、平和パネル展にて「戦没者遺族会」に一部展示スペースの提供。・夏休みこども平和学習会・・・戦争体験者の皆様にご協力いただき、小学生と語らいの場を設ける。戦時中の暮らし、平和の尊さなどについて語っていただく。また折鶴を作成し、広島県へ送る予定。・サイレン吹聴・・・戦争で犠牲となった人々に対する鎮魂、また、全世界から戦争と核兵器の永久追放を願い、市役所のサイレンを1分間吹鳴する。(8月6日、9日、15日)。・平和行進団体へのメッセージ送付。・非核平和啓発看板を市役所庁舎外壁に掲出、非核平和柱・パネルを市内各所に設置。②平和行進団体へのメッセージ③354千円	①泉大津原爆被害者の会②活動運営補助金の交付	①1人 ②上下水道料金6か月分無料 有料ゴミ袋60枚支給 毛布支給 小・中学校受け入れ
忠岡町	①・中学校では修学旅行で広島へ行き、平和学習を行う。【7月】①平和行進(町長メッセージ)、②「光の箱」作製・展示【8月】①啓発懸垂幕の掲示、②街頭啓発、③ピース大阪見学会、④非核平和パネル展(8月4日～9日)、⑤非核平和図書コーナー設置(8月1日～20日)、⑥終戦記念平和祈念事業(町長メッセージ、平和の鐘打鐘)②平和行進(町長メッセージ)③・非核平和事業交付物品代 60,000円、・借上料 100,000円(ピース大阪見学会の費用)、・使用料 55,000円(ピース大阪見学会の費用)	①なし②町単独制度なし	①現在はい受入なし(平成23年に2世帯4名を受入、現在はすべて町外に転居)②子どもの入園の手続きを簡素化し、迅速に受け入れるようにした。・人権侵害等の相談については、自治防災課と人権広報課が連携して行うよう体制を整えている。
岸和田市	①(1)子ども平和映画会6/18(マカホール) ・小学生対象に午前・午後映画を上映。(まっ黒なお弁当、みいちゃんのでのひら) ・平和関係写真パネルをロビーで展示。(2)平和行進・マラソン湯茶接待(7月2日・市役所新玄関) (3)巡回平和パネル展 写真パネルを展示し平和啓発を行う。大阪空襲と市民生活 山直市民センター6/7～6/13→春木市民センター6/14～6/20→桜台市民センター(6/21～6/27)→市役所新玄関6/28～7/4→八木市民センター7/5～7/11→東岸和田センター7/12～7/18、(4)非核平和資料展(8/2～8/6白泉会館) 高校生が描いた原爆の絵、原子爆弾に関するパネル、戦時中の現物資料等を展示し、平和啓発を行う。また平和に関する講演会や映画の上映、朗読グループによる朗読劇などを実施予定。(5)「被爆地・ヒロシマへの平和パス」(7/21～7/22広島市)市民40人を広島へ派遣し、広島平和祈念資料館見学、平和祈念公園見学、被爆体験講話聴講、平和ビデオ視聴を通じ、非核平和に関する研修を行う。(6)ピースネット 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・公益財団法人長崎平和推進協会が学校向けに無料で行っているピースネット事業(長崎在住の被爆者がインターネットテレビ会議システムを通じて小学校児童に被爆体験を語る)を、岸和田市立小学校5校を対象に実施。 ②平和行進・マラソン湯茶接待(時期未定・市役所新玄関)③平和推進事業1,803千円	①岸和田市原爆被害者の会(通称:はづき会)②見舞金(一人当たり1万円/年)	①特になし ②特になし 
貝塚市	①児童、生徒、住民への啓蒙活動 ・関係機関からのポスターやチラシの掲示・配布、「貝塚市平和教育基本指針」に基づき、各学校が平和教育に組織的・計画的に取り組む。・小中学校で夏季休業中に平和登校を実施。・小学校は広島、中学校(2校を除く)は長崎、沖縄への修学旅行で反戦・平和を学習。・原爆死没者の慰霊・平和祈念の黙とう。・平和記念像・核兵器廃絶宣言都府碑「平和のともしび」像②平和行進へのメッセージや激励③人権啓発事業と捉えた予算とされていることから、本施策に対して、明確に定めていない	①なし(貝塚市原爆被害者の会は平成28年4月24日解散)②被爆者見舞金	①把握していない ②把握している対象者について「お知らせ」等連絡事項を配布
熊取町	①・平和パネル・ポスター展(8月5日～8月23日)、・人権平和フィールドワーク(8月27日)、・戦没者等合同追悼式(11月12日)、・人権学習会(11月12日)、・小中学校において、夏季休業中に登校の日を設け、平和学習を実施(8月中旬)②後援・第37回反核・平和のつどい(反核・平和のつどい実行委員会)③・戦没者合同追悼式関連事業769千円、・泉佐野原爆被害者協議会熊取地区会補助金33千円、・平和フィールドワーク142千円、・人権学習会・・・人権協会との共催(人権協会予算)	①泉佐野原爆被害者協議会 熊取地区会②団体への補助金の交付	①避難者はいない②対象者の方がおられないため対応はとっていない
泉佐野市	①(1)「平和を考えるつどい(映画会)」(予定)反戦・平和に関するアニメ映画上映、・広島・長崎原爆パネル展、(2)市広報への関連記事の掲載(3)片内放送での黙祷の呼びかけ②(1)「反核・平和のつどい」「反戦のタベ」への後援(2) 平和大行進出発式等での激励の挨拶③特になし	①泉佐野原爆被害者協議会②特になし	①なし②なし
田尻町	①平和について考えるパネル展、町立学校における平和学習②毎年、泉南地域網の目平和行進に対して本町役場庁舎前及び庁舎トイレ、駐車場を貸出している。③0円	①泉佐野原爆被害者協議会②なし	①なし ②なし
泉南市	①(1)①非核平和の集い 8月20日 文化ホール ・映画の上映「未定」泉南市真剣啓発推進協議会等と共催で実施 (2)懸垂幕の掲示 8月1日～8月31日 市役所壁面 (3)ビデオ上映 8月1日～8月15日 市役所ロビー、平和継承DVD「現在(いま)を生きるこどもたちへ語り継ぐ! 私たちの戦争体験」(4)非核平和の図書コーナー及び非核平和写真 8月2日～8月31日 市立図書館(月曜休館)、(5)ビデオ上映 8月15日 市立青少年センター ・ビデオ上映「そとんキーもしんだ」(6)夏休み平和アニメ上映 8月26日 公民館 ・ビデオ上映「火垂るの墓」(実写版)②なし③非核平和の集い事業費一式267,000円	①泉南市被爆者の会(高齢の為解散となりなし)②不明	①0人②なし
阪南市	①市役所ロビーにて非核平和パネル展の実施(8月3日～8日)、市内全域、防災無線にて8月15日の終戦記念日に黙祷の実施を呼びかけ②特になし ③4000円	①大阪府にて把握②特になし	①0人 ②特になし
岬町	①町内各小学校(3校)・中学校(1校)で平和学習の実施②なし③0円	①一般社団法人 大阪府原爆被害者支援協会②なし	①0人 ②なし

非核と科学 No.3

放射線による材料劣化と教育

六月六日、茨城県大洗町の日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターで作業員五人がウランとプルトニウムが入った保管容器を点検していたところ、放射性物質が漏れて被爆したとの報道がありました。この事故の詳細はまだ明らかではありませんが、今後のためにこの件を十分調査して、教訓にしてほしいと思います。なぜなら、原子力発電所を稼働させた国々共通の課題として燃焼前のウランやプルトニウムを使用して使用済み核燃料物質を気の遠くなるほど長く安全に保管する重要な責任があるからです。一〇万年先を見通すこれらの保管・廃棄場所はすぐには決まらなくとも、少なくとも住民の安全性を確保しながら

ら厳格に管理・継続していきける技術や体制について十分な実証研究が要請されています。わずかな期間でも注意を怠ると、放射性物質の飛散から最悪なアルファ線等による人体の内部被爆事故を引き起こすからです。

先日の当事業所でのウランとプルトニウムは一九九一年にポリ容器に入れ、ビニール袋に包んで保管容器に二六年間保管していたとの事であった。私が驚いたのは「ポリ容器に入れ、ビニール袋に包んでいた」が容器開封時にビニール袋が破れ、内部の粉状の放射性物質が飛散したことです。私は学生時代にポロニウム線源を実験に使用したことがあり、線源の入ったアクリル製の容器の蓋を開けると、蓋の内側が餅を焼いたように膨れ上がっていた事がありました。生体や有機物にウランやプルトニウム等が密着することがあると、アルファ線等でそれらに

大きな損傷を残します。わずかの時間でもポリ容器やビニール袋に密着させるとその材料が劣化したり、ガスへと分解する可能性があります。「ビニール袋が破れることを想定していなかった」と事業所が記者会見しましたが、とりあえず一時的に保管するにしろ放射線による材料劣化の問題は常時留意する必要があります。

日本だけでなく、原子力をエネルギー源として利用した国々はいずれも用いたウラン、プルトニウム、使用済み核燃料等を何万年単位の時間で安全に保管する義務があります。わずか三〇年足らずの保管でこの様な事故発生は何だろーと思いません。私が気になることは学生にアンケート調査をすると残念ですが「難しい課題は行政や専門家へ任せる」という回答が多かったことです。これでは安全性や超長期間の防護体制は育っていかないの

はと思うのです。私は学校教育の段階で児童・生徒が生活の基礎により関心を持ち、安全のための知識を得て、自ら意見を持ち判断できる力の育成に期待しています。まず、皆が関心をもつこととです (跡部 紘三)

核兵器の禁止を

2017 World Conference against A&H Bombs
原水爆禁止2017年世界大会

8月3〜9日、広島と長崎の原爆犠牲者慰霊平和祈念式会場にて、原水爆禁止世界大会を開催します。この3月、核兵器禁止条約を交渉する会議が開催され、7月7日には条約が採択される予定です。

条約採択の最大の理由は、核兵器が引き起こす人道被害を止め、核兵器を禁止し、核兵器を保有する国を非核兵器国と行動させることです。この世界大会は、こうした取り組みの継続と刷新を呼び、新しいステップへの切りかぎの機運を醸成、交流します。

今年も本大会は、条約禁止条約が採択されたことによる機運が盛り込まれています。禁止条約採択に賛同し、賛助、賛成、日本中世界の反核平和運動の代表、政府・関係機関、市民団体の代表が集い、共同宣言を採択します。

原水爆禁止・廃絶の推進に、人類を核兵器による絶滅の危機から救うだけでなく、お笑い・暮らしを享受するすべての人に知らず、早急で公正な世界への転換も求められています。

「核兵器のない世界」の実現をねがう人は、全国の集約から広島、長崎へ集まりましょう。

夏の非核・平和の催し案内

◇原水爆禁止2017年世界大会

1. 世界大会国際会議
8月3〜5日(広島) 1日参加者募集
2. 世界大会・広島
8月5〜6日(広島) ※6日 13時〜 広島大会 19時30分〜とうろう流し
3. 世界大会・長崎大会
8月7〜9日(長崎)
7日 15時30分〜「世界大会開会総会」
8日 9時30分〜「分科会・フィールドワーク」
9日 10時30分〜「世界大会閉会総会」

※問い合わせ・参加希望者申し込み
大阪原水協:登録日時 7月 24日〜25日
電話:06-6765-2552

◇海外代表と語ろう!ピースインおおさか 2017
8月1日 18時00分〜 たかつガーデン(上六)
米国:ジョゼフ・ガーソン、IPB会長:リサ・クラーク

◇ノーモア・ヒバクシャ訴訟
7月13日(木)11時00分 202 大法廷 高裁 結審
7月14日(金)11時00分 806 号法廷 地裁
※傍聴活動にご協力ください

NER 研究会学習講演会

今、なぜ原発延命策だ?

大島 堅一 龍谷大学教授
三二講演 「カシノと原発」(仮題)
榎田 照雄 阪南大学教授

日時: 2017年 7月 8日(土) 13:30〜
会場: あへのハルカス 23 階 (17 階で乗り換え)
阪南大学あへのハルカスキャンパス
(裏面に地図)

参加費: 無料 (カンパあり)

主催: 原発・エネルギー・地域経済研究会 (代表 吉井英勝)
お問い合わせ ner-yoshii@skysanet.ne.jp

福島事故は6年たった今も解決できない。そして、30兆円? 気の遠くなる巨額の賠償費用・廃炉費用。そのほぼ全てを国民・消費者負担しつつ、東電は利益出ている。そして関電は、原発を動かす。増える一方の核廃棄物。処理方法もない。いったい、どんなところが潤んでるのでしょうか。2年ぶりに、原発コスト問題の第一人者 大島堅一先生をお招きして勉強します。カシノ、万博問題で話題中の榎田照雄先生の三二講演も楽しみです。みなさま、お問い合わせください。

核兵器禁止条約交渉会議・第2会期にあたっての各国政府への

2017年6月
非核の政府を求める会

資料

要請項目

1. 今回の国連交渉会議第2会期会合で、エレン・ホワイト議長が5月22日に発表した「核兵器禁止条約草案」を支持し、論議を尽くしてより豊かにし、第72回国連総会に提案する条約案として採択すること。
2. 核兵器禁止条約を国際社会の圧倒的多数の合意として実現するため、第72回国連総会に向けて、同条約案賛成国の拡大のために尽力すること。
3. 核兵器禁止条約草案に示された、核兵器廃絶への決意を堅持し、さらなる充実化のために尽力すること。

核兵器禁止条約づくりの国連交渉会議・第2会期会合が、まもなく幕を開けます。今回の会合は、第1会期会合で示された、核兵器禁止・廃絶を求める気運の高まりを引き継ぎ、エレン・ホワイト国連交渉会議議長が発表した核兵器禁止条約草案を受けて開かれます。それだけに、今回の会合で核兵器なき世界への新たな歴史的一歩を踏み出すことができるかどうか、いま、その成り行きを、日本の被爆者はじめ世界の人々が大きな期待を込めて注目しています。私たち非核の政府を求める会は、1986年に発足して以来、日本のNGO（非政府組織）として、思想・信条、支持政党の違いを超えて、以下の「非核5項目」の課題の実行を主要な政策の柱とする、日本における非核の政府の実現をめざしています。日頃、日本政府に対し、核兵器廃絶条約の提唱、「核の傘」の脱却、国民に秘匿して有事の際に日本への核兵器持ち込みを容認した日米「核密約」の破棄など、非核・平和の政治への転換を求めています。〈私たちが掲げる「非核5項目」〉①全人類共通の緊急課題として核戦争防止・核兵器廃絶の実現 ②国是とされる非核3原則の厳守 ③日本の核戦場化へのすべての措置の阻止 ④国家補償による被爆者援護法の制定 ⑤原水爆禁止世界大会の合意にもとづく国際連帯の強化

しかしながら、核兵器はいまなお、世界に1万5000発も配備・貯蔵され、人類の生存と地球環境の保全にとって最大の脅威となっています。核兵器禁止・廃絶は、将来へ先送りすることの許されない、全人類的な最優先課題です。私たちは、この立場から、ホワイト議長の核兵器禁止条約草案の発表を心から歓迎するものです。そして、同草案が、今回の会合でさらに豊かにされ、圧倒的多数の国連加盟国の賛成で採択されることを強く願っています。同草案は、その前文で「(条約締約国は) 厳重かつ効果的な国際管理下における全面的な核軍備縮小撤廃に至る交渉締結を誠実に追求し実現する義務が存在する」と述べて核兵器廃絶への決意を宣言しています。条文では、核兵器の開発、製造、取得、所有、貯蔵、移転、受領、使用、核爆発実施など禁止項目を具体的に列挙するとともに、「残存核兵器プログラムの検証された不可逆な廃棄のための規定を含め、核軍備縮小撤廃に関連するさらなる実効性のある措置」を提案する方途をも明示しています。まさに、核兵器禁止条約が制定されれば、核兵器の違法性を確立し、全面廃棄へと導く新たな歴史的段階に踏み出すこととなります。前文に「ヒバクシャの苦難を心に留める」との言葉が盛り込まれたことも、注目されます。草案で示されたこうした方向こそ、わが国の被爆者・国民の積年の苦難・願いに応える道であり、当会の目標と合致するものです。先の第1会期会合には110カ国余が参加して、核兵器禁止条約の実現を求める流れが地球規模の賛同を得ていることを如実に示しました。今日、「核兵器は非人道的であるがゆえに禁止・廃絶すべき」「核兵器が二度と使用されない唯一の保証は廃絶しかない」として、核兵器完全廃棄を導く禁止条約の制定を求める流れこそ世界の主流であることに、疑問を挟む余地はありません。この間、核保有国が見せた核兵器禁止条約に対する強い反発自体、皮肉にも核兵器廃絶に向けた禁止条約の重要性・実効性を裏づけるものとなっています。核保有国と核依存国は、核兵器禁止条約は「世界を危険にさらし、不安定化させる」などと主張しますが、世界を危険にさらしている最大の元凶が現存する核兵器そのものであることは、明らかです。また、核兵器禁止・廃絶の流れは、国際紛争の平和的解決を求める規範の確立と表裏一体をなし、世界を不安定化させるどころか、平和的国際秩序の新たな基礎と発展の展望を開くこととなります。国際的孤立を深めながら、なおも核兵器の保有・依存に固執し、核兵器なき世界の実現を妨害する核保有国・核依存国の責任が、今ほど厳しく問われているときはありません。今年は、その年の内に約21万人の命を奪った広島・長崎への原爆投下から72年になります。生き残った被爆者は今も、肉体的・精神的な障がいで苦しめられています。「私たちの生きているうちに核兵器をなくしてほしい」——これは広島・長崎被爆者の悲願です。核兵器の一日も早い廃絶は、現在と未来の人類社会に対する、今を生きる私たちの使命です。

私たちは、こうした立場から、貴国政府が今回の第2会期会合において、核兵器廃絶に至る禁止条約の実現のために積極的な役割を果たされるよう、心から要請するものです。以上